

豪雨災害に伴う市長メッセージ

秋田市長の穂積志です。

梅雨前線の停滞による14日午後から続く雨の影響により、現在までに50件を超える道路の冠水、20件ほどの法面・路肩の崩壊が発生しているほか、広面の汚水中継ポンプ場が水没するなど、市内の広範囲において被害が発生しています。

また太平川、新城川の氾濫などにより、東部、北部、南部などを含め、広範囲にわたって浸水被害等が出ており、現在、約1,000人の方が避難している状況であります。秋田市では、市民サービスセンター、コミュニティセンターなど、81か所の避難所を開設し、全力を挙げて、市民の安心安全の確保に努めているところであります。

秋田地方气象台によりますと、今後、雨は一時的に弱まるものの、断続的な降雨が予報されており、まだまだ予断を許さない状況にあります。

避難所に避難されている方も、自宅で避難されている方も、まだ危険な状況が続きますので、気をつけてお過ごしください。また、安全な親戚や友人宅などに避難することも考えてください。

土砂災害については、雨が長時間降り続いていることで地盤が緩んでいるところがあります。普段土砂災害が起きないような場所でも危険度が高い状態が続いているため、厳重に警戒してください。また、ハザードマップを確認し、土砂災害警戒区域および土砂災害特別警戒区域に指定されている区域にお住まいの方は早めに避難し、安全を確保するようにしてください。

なお、市立小中学校および児童館については、児童生徒の安全を確保するため18日火曜日は臨時休校・休館といたしました。保育所と学童保育については、施設ごとに対応が異なるので、それぞれ確認をお願いいたします。

市内交通機関の運行状況についても、市のホームページや各交通機関のホームページを確認ください。

引き続き、最新の気象情報や避難情報に注意し、命を守ることを最優先していただくようお願いいたします。